

都城市・三股町在宅医療・介護連携推進協議会 令和3年 第2回 多職種オンラインセミナー

『今こそ 繋がろう 医療と介護の連携の輪』

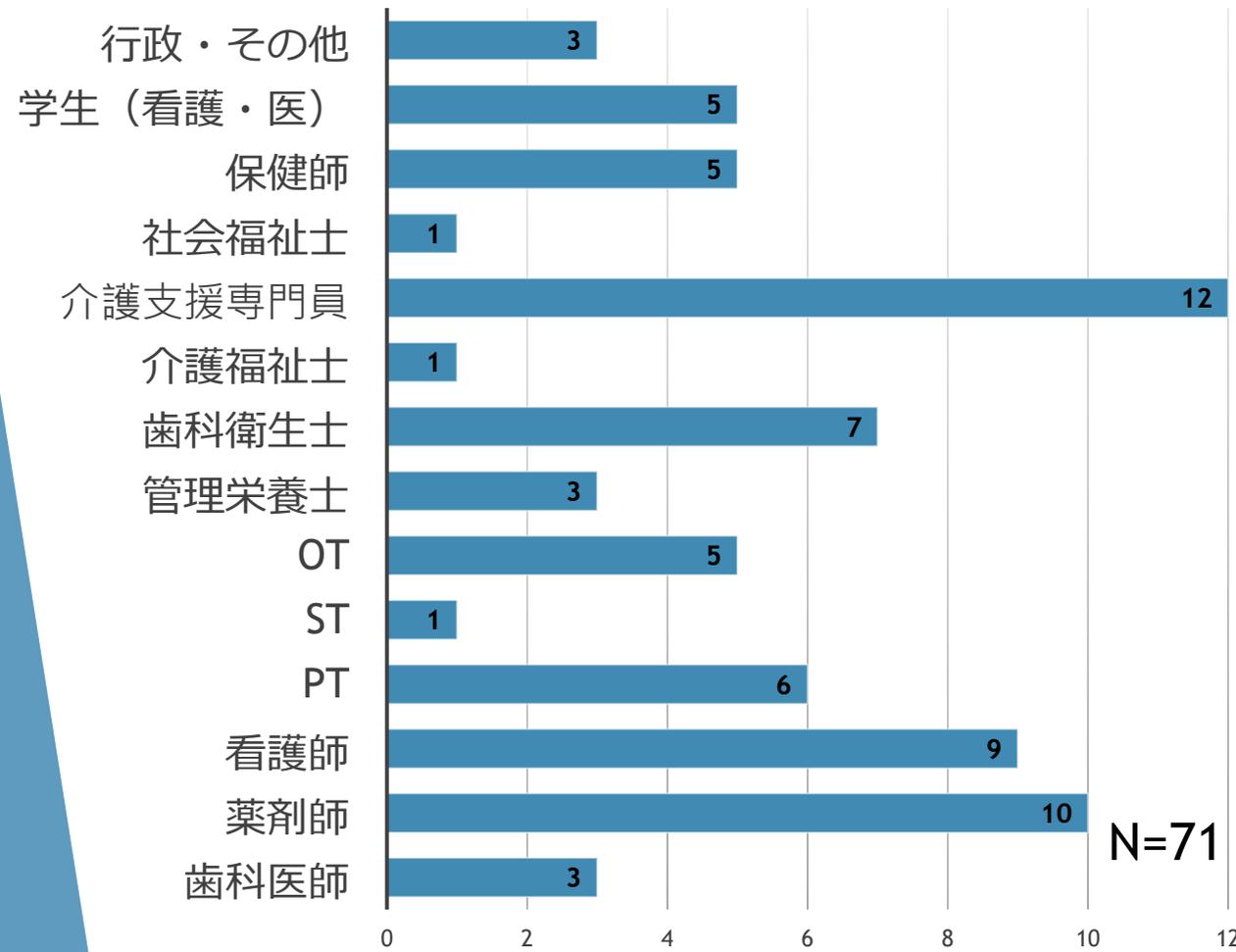
開催日時：令和3年 1月23日 土曜日 14：20～16：20

開催形式：Zoomを使ったオンライン形式

対象者：都城市・三股町の医療・介護従事者

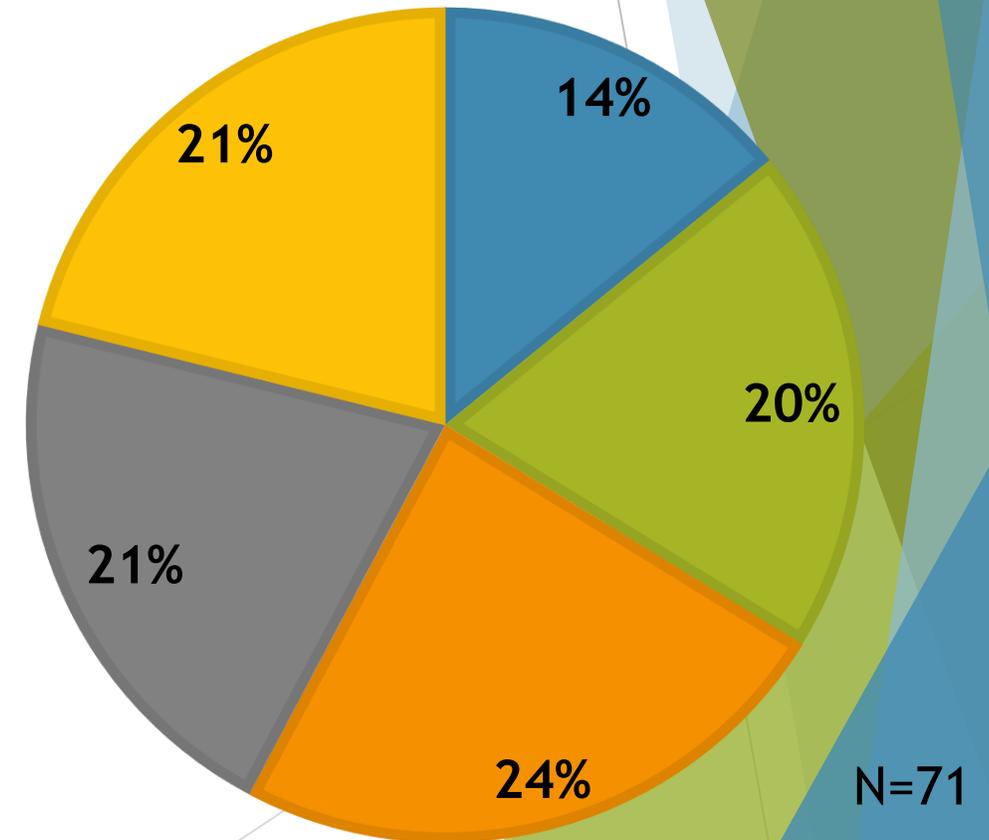
○ 申込回線数 89 ⇒ 参加者回線数 65
 ○ アンケート回収 71 アンケート回収率 95.9%

参加職種内訳 (アンケート回収分)



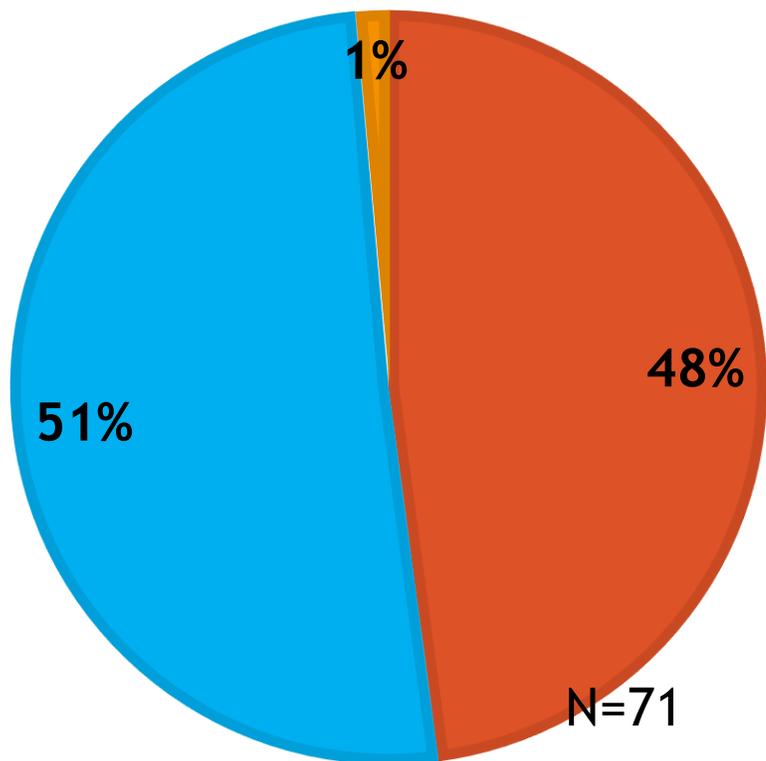
経験年数

■ 1~5年 ■ 6~10年 ■ 11~20年 ■ 21年以上 ■ 無回答

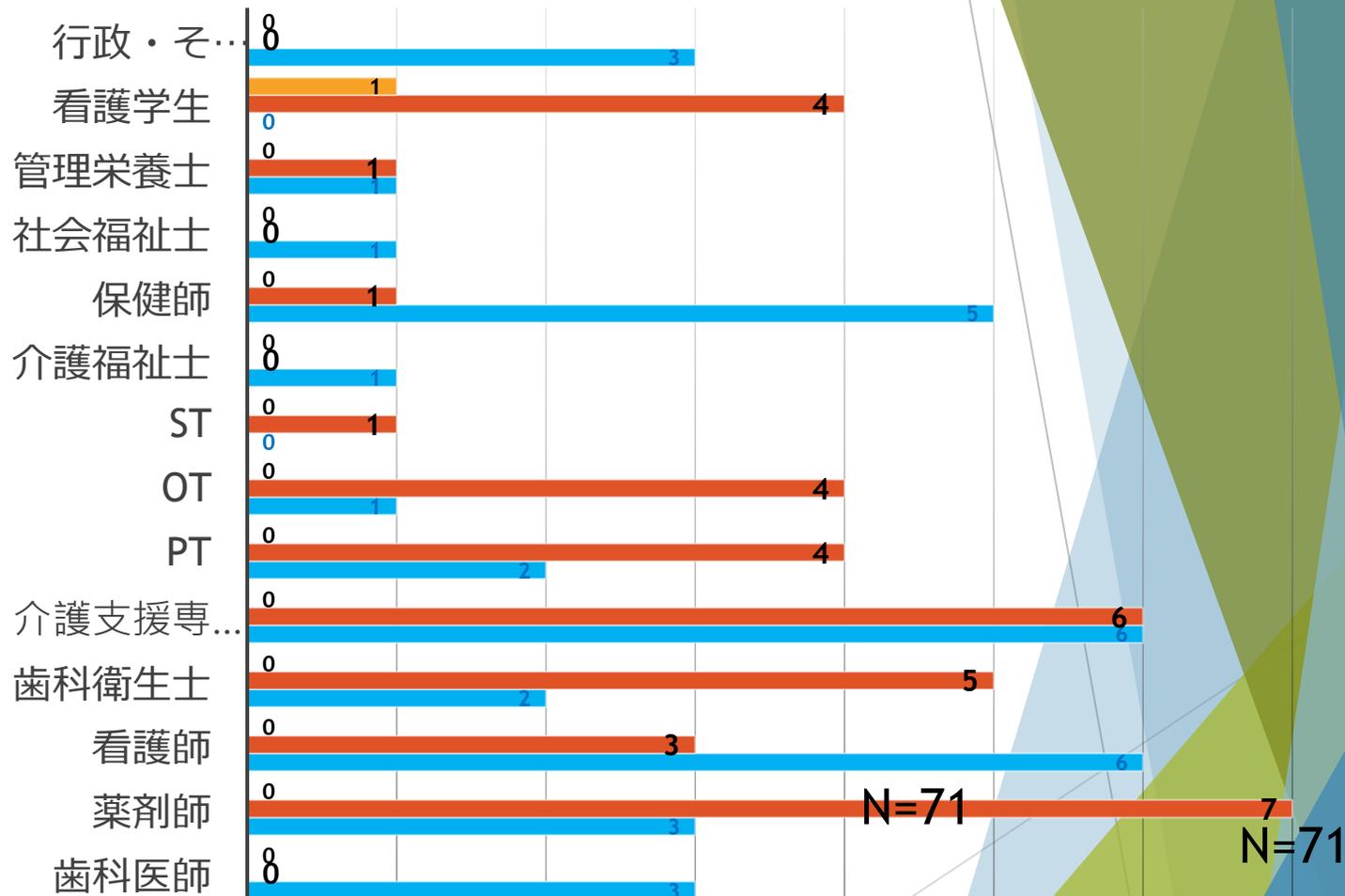


MCSの認知度

- ① 知っていた
- ② 知らなかった
- 無回答



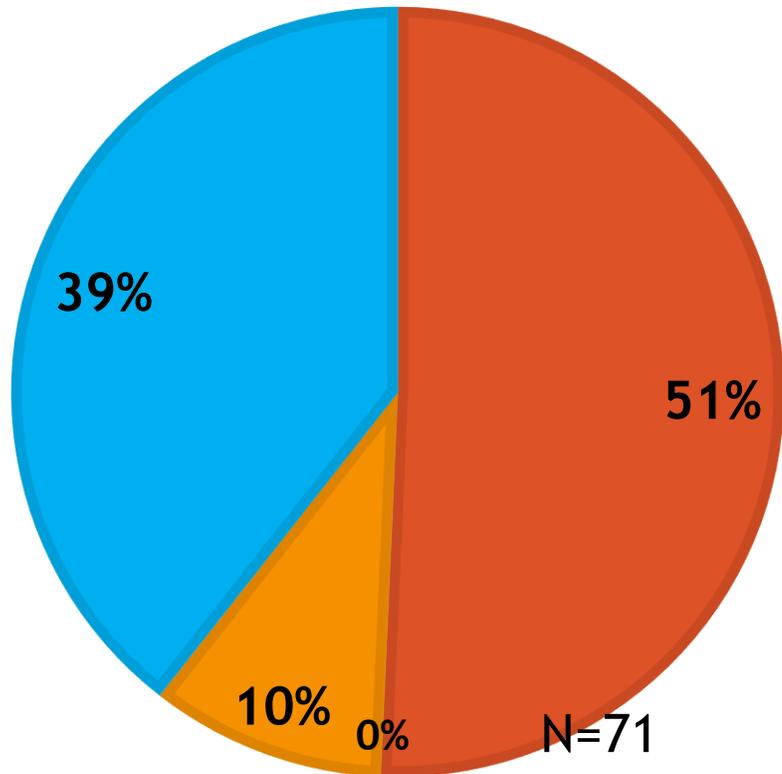
MCSの認知度



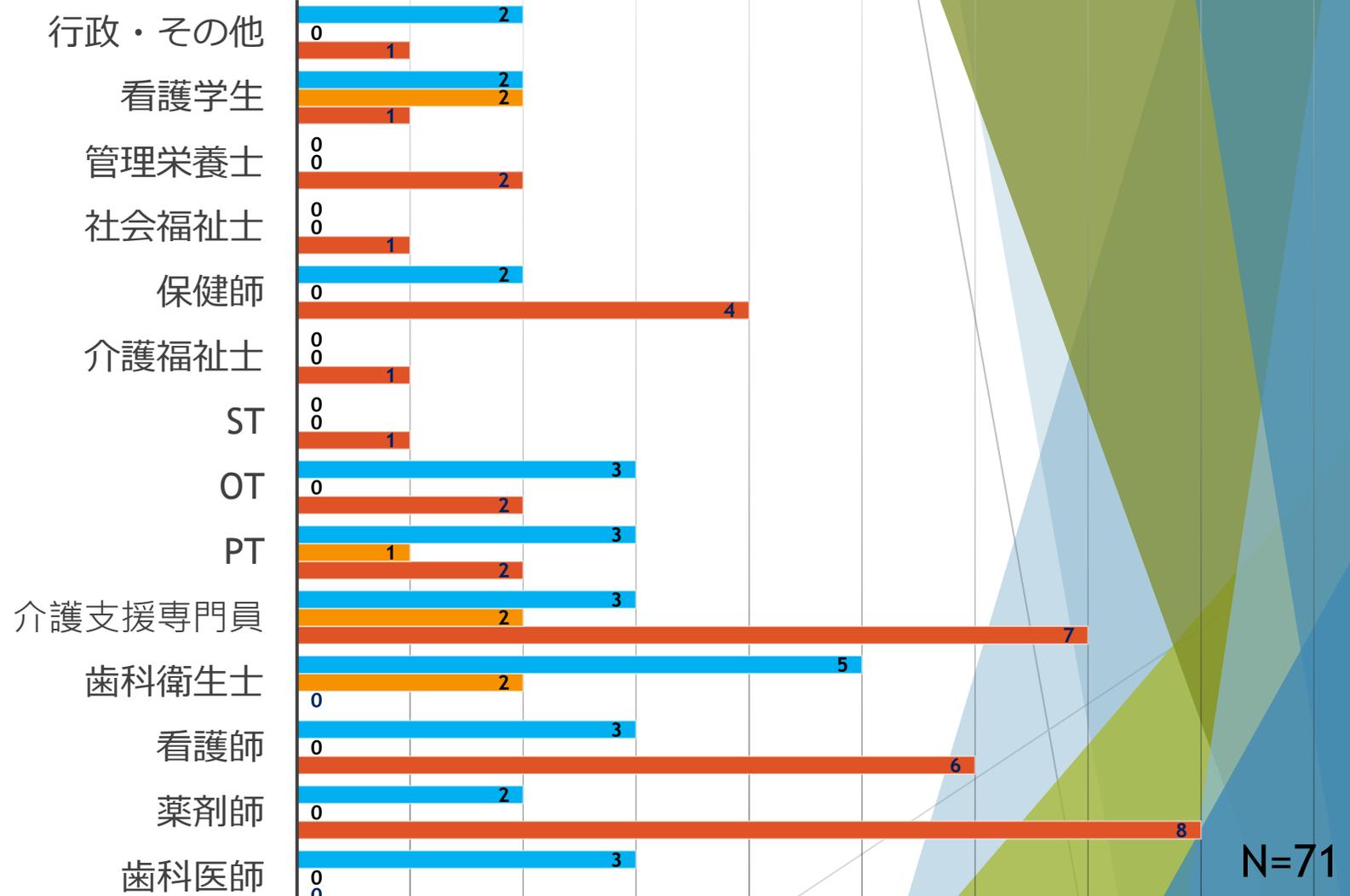
MCSを知っていたのは、5割近くを占めた。最も認知度の高かった専門職は、Zoom参加者人数にもよるが、薬剤師・介護支援専門員・歯科衛生士の順であった。

MCSの関心度

- ① 関心がある
- ② 関心がない
- ③ どちらでもない
- 無回答



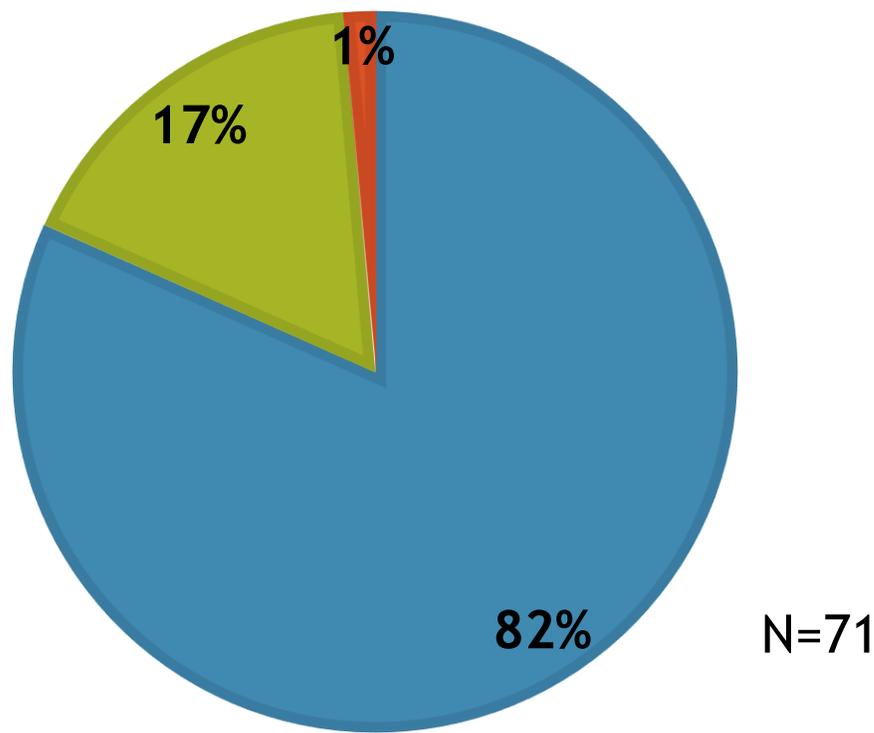
MCSの関心度



MCSに関心のあるという回答は5割を占めた。最も関心を示した職種は、Zoom参加者人数にもよるが、薬剤師・介護支援専門員・看護師（訪問看護師含む）の順であった。

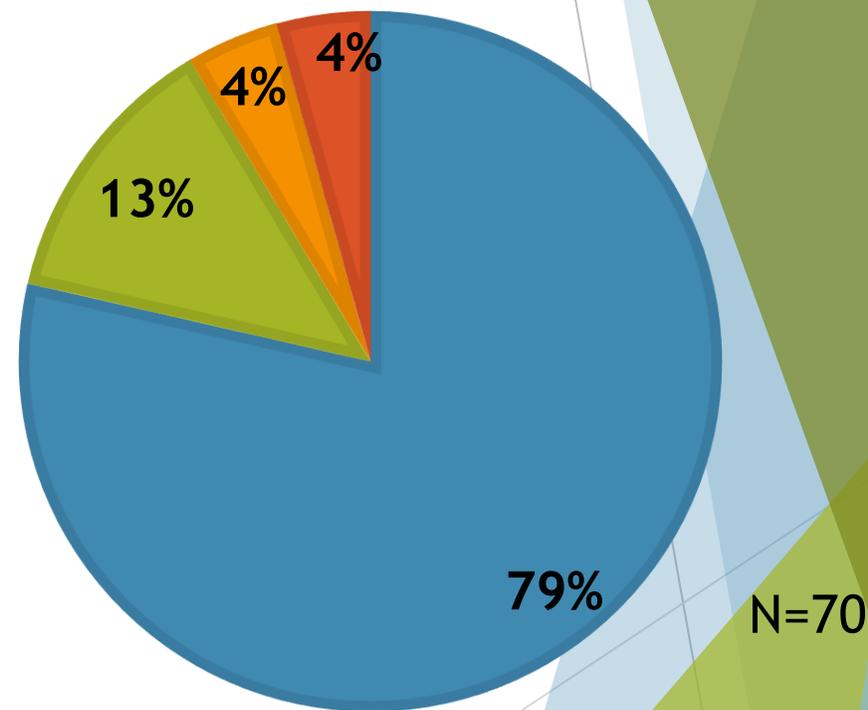
3-①テーマについて

- 5 よかった
- 4 まあまあよかった
- 3 どちらでもない
- 2 あまりよくなかった
- 1 よくなかった
- 無回答



3-②研修内容の理解度について

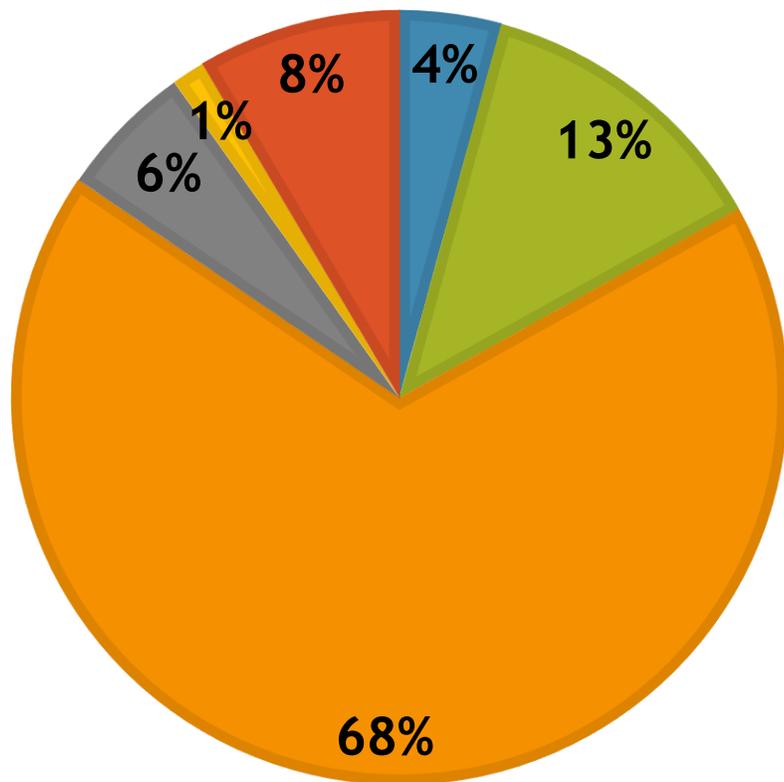
- 5 よく理解できた
- 4 まあまあ理解できた
- 3 どちらでもない
- 2 あまり理解できない
- 1 理解できなかった
- 無回答



セミナーテーマについては、5・4評価が99%を占めた。内容についても、5・4評価が92%を占め、多様な事例および動画を盛り込み具体的で、どの職種に対しても、わかりやすい内容だったといえる。

4-①研修の進め方について

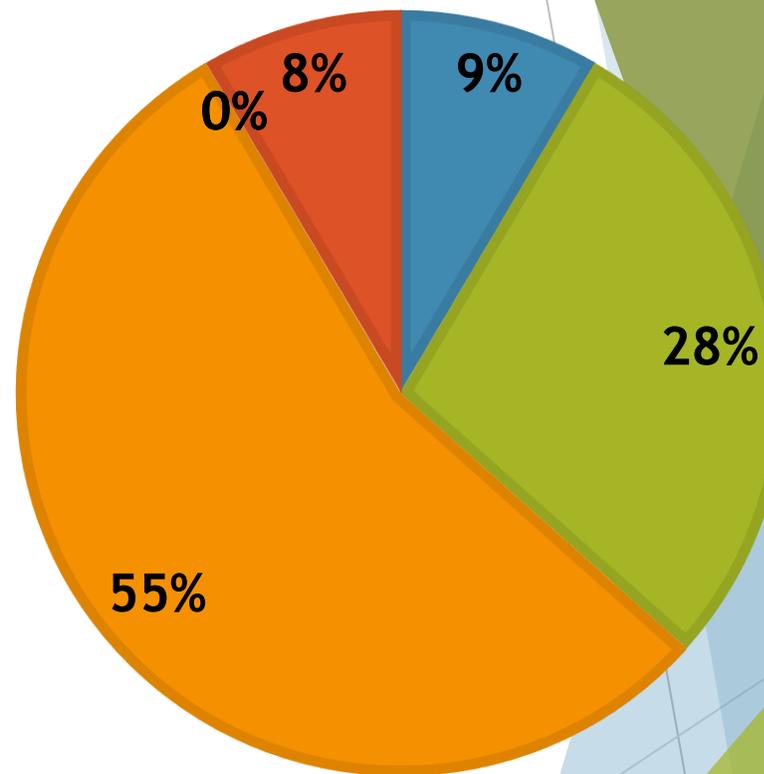
■長い5 ■4 ■ちょうど良い3 ■2 ■短い1 ■無回答



N=71

4-②情報量について

■多い5 ■4 ■ちょうど良い3 ■2 ■少ない1 ■無回答

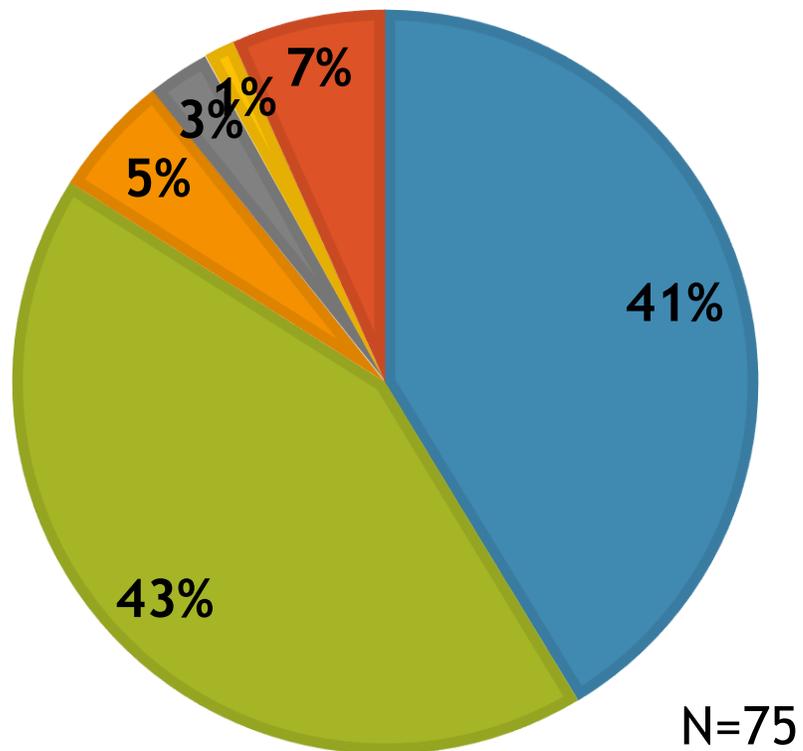


N=71

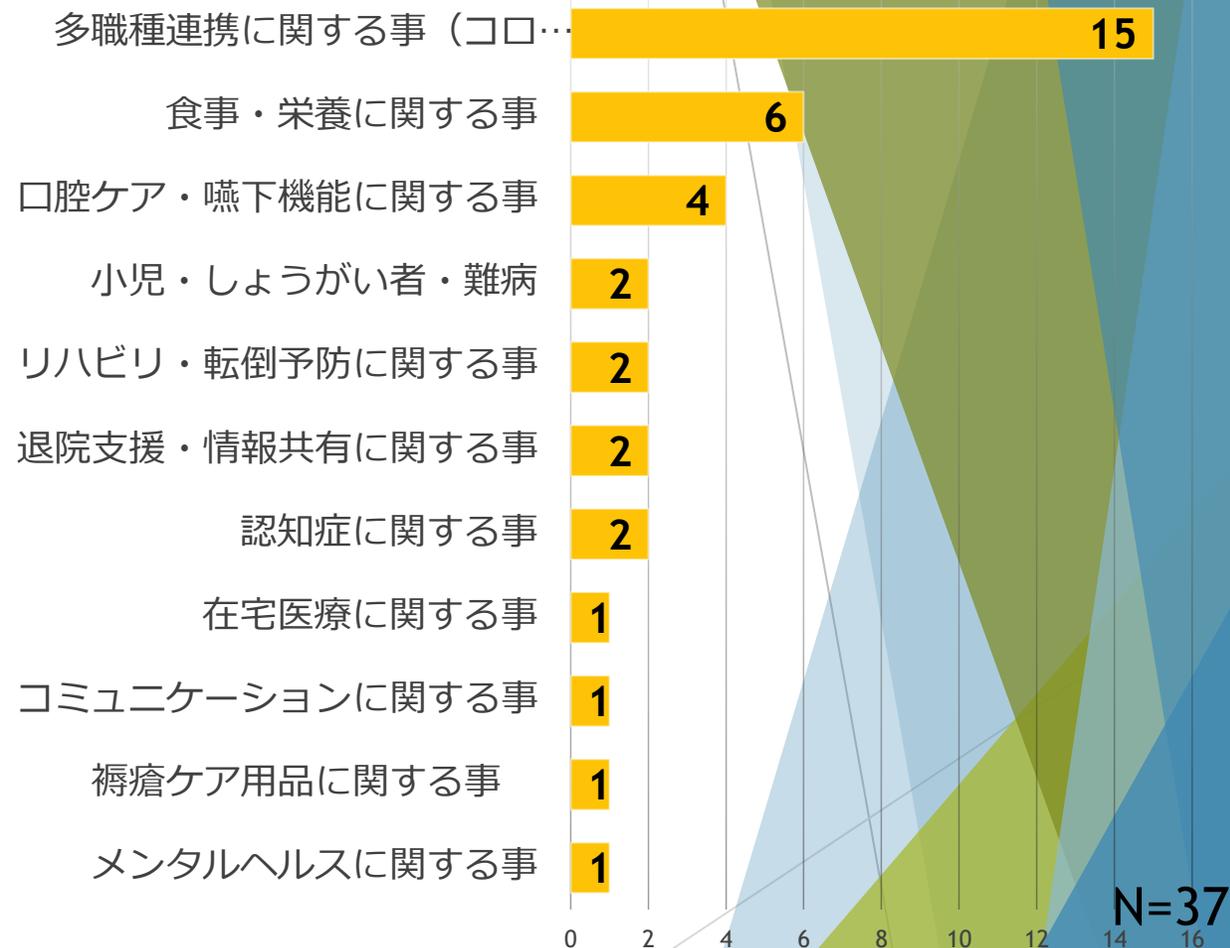
2部構成のセミナーの進め方は、「ちょうど良い」が68%を占めた。2部の講演時間は、60分間であり、情報量としては「ちょうど良い」55%、「やや多い」28%の結果だった。

5-①研修会の希望形式について

- 1名講師講演 ■ 2～3名講師講演 ■ シンポジウム
- グループワーク ■ その他 ■ 無回答

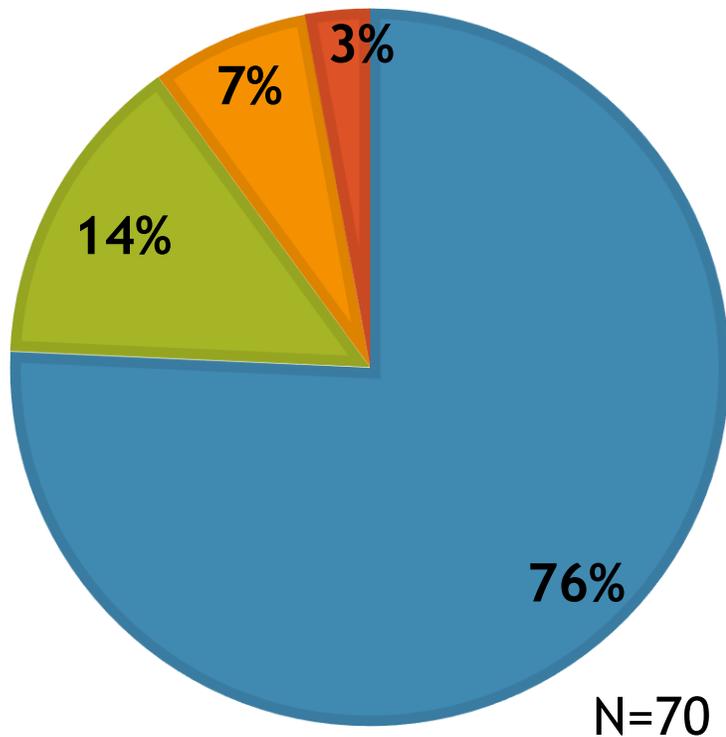
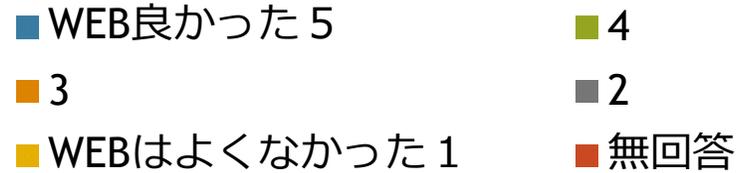


5-②希望のテーマ



今後の研修会の形式は、1名または2～3名の講師の講演が、84%を占めた。オンラインの為、グループワークの希望は少なかった。テーマとしては、多職種連携に関する事が、最も多かった。

6 WEBセミナーについて



【意見・感想】

○オンラインセミナーについて

- ・気軽に受講できた。参加しやすい。 2件
- ・携帯電話の使用は、回線トラブルが発生した。音声途切れた。 2件
- ・WEB研修を増やしてほしい。 2件
- ・参加者未退出のまま、講演終了後の会話が漏れていた。 1件

○講師の先生の考え方・姿勢・視点

講演内容に関して

多職種連携の重要性に関して

「自己の専門分野を深め、他の職種に押し付けない。
互いの専門性を認め、役割を理解することが大切」

アンケート結果参照

3-③一番印象に残った内容について

- ・食べれば歩ける
- ・口腔内の治療・清潔が肺炎の罹患率低下につながる事。
- ・口腔ケア・食事介助についての現状が知れてよかった。
- ・口腔ケア、実際の現場でもうまくいっていない関心を持っていたので、やり方であれば変化する事。
- ・「食べる事ができれば歩ける」ということです。その逆「歩ければ食べられる」はないことです。
- ・全てにおいて連携の必要性を感じました。
- ・口腔ケアでの話の中での食事ができない方の変化（食事が可能に）が大変印象的であった。
また現場のスタッフが動かないとの話にはショックを受けた。
- ・麻痺があると口の中に食べ物が残っていても自覚できない。
- ・多職種による連携アプローチによって対象者の口腔機能を改善させることが達成可能であり、再び経口摂取ができるようになることが印象として強く残りました。
- ・多職種連携によって食事摂取ができるようになった事例。
- ・口腔内の状態が改善すると経管栄養やミキサー食だった方も普通食を摂取できるようになったこと。
- ・口腔摂取することにより本人状態が良くなり、最後には歩行可能になった事例。
- ・口腔摂取の回復がQOLの向上につながった。形状、姿勢、介助方法の重要性。
多職種連携は互いを知る事。
- ・おむつ交換はしても口腔ケアが軽視されていること。
- ・口腔ケアや訓練を継続し経口摂取が可能になった事例や、在宅で訪問等と連携を取りながら経口摂取が可能になった事例を聞いて素晴らしいと思った。
- ・MCSの在宅を知り、活用することで一括に情報提供でき直ぐ連携を図れるので素晴らしいと思った。
取り入れたいと思う。
- ・MCSを知り、今後連携の取り方があると、こうゆう世の中だからこそ使用していきたい。
- ・食べるはずの人が食べさせてもらえていない
- ・「経口摂取を行った方が（食べさせればたべさせる食べさせるほど）肺炎を起こしにくい」は目からウロコでした。それには食事形態、姿勢、介助方法がポイントになり、やはりたどりつくところは一人ではできない。多職種との連携チームでの取り組みだと実感。
- ・歯の大切さを改めて実感した。
- ・口腔ケアの実状（介護施設等での）
- ・口腔ケアの大切さが改めてわかりました。
- ・MCSの活用→リーフレットがわかりやすく作成してあり、説明も良かった。
口腔ケア・摂食嚥下リハについて事例を通しての講演でその重要性が再確認できた。
- ・食べる事で動けるようになった事例 そのためには多職種連携が大切だということ。
- ・先生の講演は事例があり非常にわかりやすかった。口から食事をすることで状態が上がった事例を通して私とその課題に向かって動けることが重要だと感じた。
- ・麻痺側の食べ物の残り、確認をしなければいけないということ。
- ・口腔ケアの重要性・関係性（2）
- ・事例について

- ・事例をもとにわかりやすく説明して下さったところ。
- ・多職種が連携するには、互いの専門性、職域を理解しあうこと。動画や写真など本人に見せて意識させること。
- ・口腔ケアをすることにより、単に歯や口腔内を清潔に保つだけでなく、肺炎 口腔ケアは健康に直結すると知り、改めて重要性が分かりました。
- ・食事がちゃんと摂れると歩けるようになること。口腔内がきれいでも免疫力が低下すると肺炎になること。摂食嚥下には姿勢や食事介助の仕方も大事な事。もう少し聞きたかったです。
- ・口腔ケアについて知識を高める人陽性について感じています。
- ・多職種で連携していくことですごい結果が得られることに感動しました。
- ・食事がとれない時期があっても、介護の仕方や周りの連携で食事がとれる事が分かりました。
- ・絶対動けないと思っていた方が食べれる・動けるようになったこと。
- ・離床前の口腔ケアの重要性。
- ・現場の状況は忙しく、十分なアプローチが届いていない。人材と教育が必要。
- ・口腔内環境と全身状態は直結している。ケアは重要。
- ・症例のエピソードを通して口腔ケアや摂食の大切さを再確認しました。
- ・MCSを使用することで多職種の共有はより簡単にできる仕組みが感動した。
- ・多職種連携と経口摂食できた事例。
- ・清山先生の講演の中で、出てきた写真と動画。またスタッフの方との会話の内容。
- ・離床前の口腔ケア。
- ・多職種で連携を図りながら、正しいアプローチで支援していくことで、最期まで口から美味しく食べられるよう関わられていて深く感心しました。ご本人が持っている能力や引き出せる能力を諦めず、支援していきたいと思ます。
- ・食事のポジショニング、口腔ケア、食事形態により食べられなかった方が、食べられるようになった事例が印象に残りました。
- ・食事介助の方法が施設ではきちんと指導がされているわけではないこと（STが在籍していても）
- ・情報の共有と連携の大事なことが分かった。
- ・正しいアプローチをすることで、食べる事ができた事例の紹介があり今までの体験を思い出したり参考になりました。
- ・チームケアをすることが大事。
- ・連携により寝たきりでMT挿入の方が、自立歩行し経口摂取されている映像を見て感動しました。
- ・口腔内環境により食べられなかった人が食べれるようになり、ADLもu pする。
食の大切さを実感しました。多職種連携やスタッフのスキルu pの必要性も実感しました。
- ・摂食障害の患者さんが自己摂取でき、回復できるまで口腔内や食事指導、介助の大切さ等再確認できた
- ・「在宅で最期まで美味しく食べるための、摂食嚥下リハ・口腔ケアに関する多職種連携について」
- ・口腔ケアについてなんのためにするのか施設によっての意識の違い。壊さないように義歯を水を張った器の上で洗う配慮が必要。

7. ご意見・感想

- ・MCS登録しました。薬剤師会内で輪が広がる。
- ・具体的内容で理解しやすかったです。
- ・オンラインで気軽に参加できて良かったです。
自分と違う職種の話は参考になります。
- ・歯科医の先生がこのような口腔ケアに関わっているのが分かった。
- ・食べる事の重大さを感じました。
- ・いろいろな職種の方々の意見を聞けてとても参考になり、今後に生かしていきたいと思っています。
- ・清山先生を知ることができたのが一番の収穫だった。
- ・清山先生の大変理解しやすい説明によって多くの事を学ぶ機会になりました。
ありがとうございました。
- ・清山先生の熱い思いが伝わり、今後都城市・北諸県郡圏域にもこのような取り組みが広がるといいと思いました。食事サポーター講座の実施の時はお知らせいただきたいです。
- ・大変勉強になりました。
- ・口腔ケアについて理解しやすく説明してもらい良かったです。
- ・清山先生の率直な意見と事例の紹介がわかりやすかったです。このような事例にMCSと連携することで、多職の連携が回りやすくなると感じました。
- ・在宅で歯科の先生方やSTさんとも連携をとって、最期までおいしく食べる事ができるようにつながれるようになればいいと感じました。
- ・清山先生の話がとてもわかりやすく説明して頂き、参考になる勉強だった。
- ・感動しました。歩けない人が歩けるようになったりなど。
- ・とても参考になりました。参加の機会を頂いてとても勉強になり、また学生を参加させたいと思いました。
- ・清山先生の講演は4回目ですが、その度に初心に戻ります。今回も自分の目指しているところはなんであるのか、再度考えさせて頂く、いい機会になりました。
KTバランスチャートも少しずつ取り入れていますが、施設内に広まっていくように取り組んでいこうと思います。
- ・清山先生の講演をぜひもう一度お願いします。
- ・貴重なご講演ありがとうございました。
- ・Webだったので参加しやすかったです。
- ・webセミナー準備が大変だったと思いますが、流れがスムーズで良かったです。
- ・早く退室すればよかったのですが。終了後に講師の先生との会話がダダ洩れでした。
切り替え出来たほうが良いと思います。
- ・チームの質と連携がいかに大切か学んだ。多職種連携において、管理栄養士の位置づけが低い気がする。まだまだ、栄養士の力不足を感じます。こういったセミナーをたくさんして頂きたいです。Web使用して、どんどんやってください。
- ・症例をたくさん見せていただき、勉強になりました。

- ・都城で医療が進んでいると感じました。
- ・食べる事の大切さを改めて感じました。具体的な事例も多くとても開きやすく、理解しやすかったです。WEBセミナー移動時間やリスクも少なく、ゆっくり聞けるので良かったと思います。準備などありがとうございました。
- ・多職種連携の重要性を改めて感じました。とても勉強になりました。ありがとうございました。
- ・とても勉強になったセミナーでした。先生の自分の専門を押し付けない、相手の専門職のことを理解するというのは多職種連携の中で非常に大切な事だと共感いたしました。貴重なご講演ありがとうございました。
- ・歯科医師の話詳しく聞く機会はなかったので勉強になった。
- ・本題までの話が長かった。Zoomで気軽に受講できてよかった。
- ・口腔内ケアに合わせて自分たちができるシーティングにも力を入れていきたいと思いました。
- ・WEBセミナーでしたが、講師の方たちの熱量が伝わってきて、コロナ禍で弱った気持ちでしたが、頑張ろうと思えました。ありがとうございました。
- ・都城地区の方と多職種での考え方について学ぶ機会が良かった。2時40分頃に回線が悪くなり、音声は5分程切れた。
- ・実際の事例を写真や動画を交えて経過を見せてくださり変化に驚きました。今後支援していく際の視点や考え方の幅が広がったように感じました。ありがとうございました。
- ・口腔ケアの重要性と多職種連携の大切さを改めて感じました。食べることの大切さを感じました。
- ・事例の内容を細かく知りたかった。
- ・大変勉強になりました。
- ・それぞれの操作が難しいかな？
- ・初めてのWEBセミナーの参加で携帯使用の不具合もありましたが（すいません）集中して聞くことができ、内容も充実していました。参加して良かったです。ありがとうございました。
- ・WEBでの研修が増えるといいです。
- ・清山先生の話が良かったです。他の職種の事を学ぶ大事さを自覚しました。